

(22) 消防施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市民の生命・財産を守るため、消防庁舎のほか、3ヶ所の支署、6ヶ所の分団車庫を設置しています。

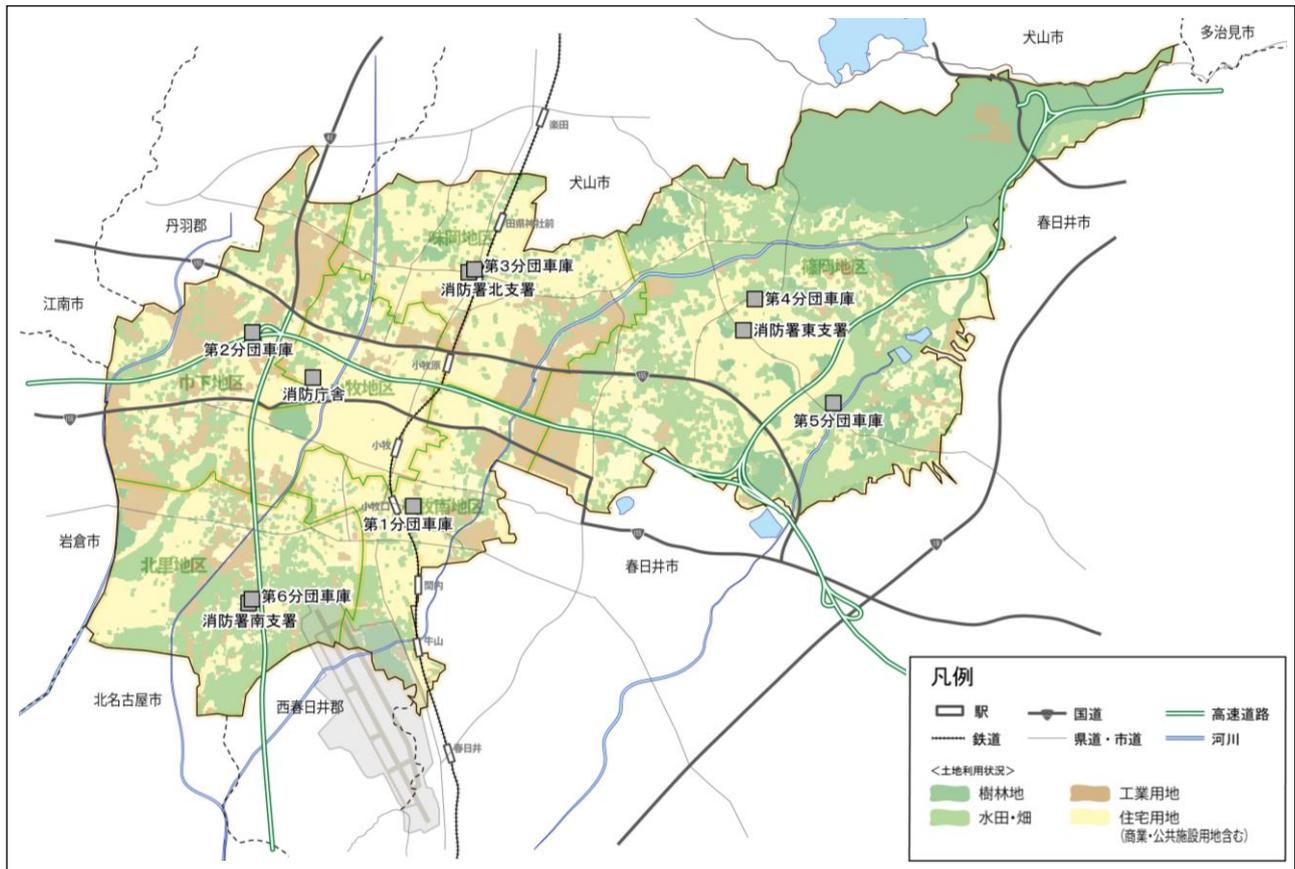
消防署南支署は北里市民センターに、消防署北支署は味岡市民センターに併設されています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設施設				備考
					公民館・ 市民センター	図書室	児童館	支所 (行政窓口)	
1 消防庁舎	小牧市安田町119番地	2,713.2	昭和50	鉄筋コンクリート					
2 消防署東支署	小牧市大字池之内3428番地2	1,023.1	昭和61	鉄筋コンクリート					
3 消防署南支署	小牧市下小針中島二丁目130番地	505.7	平成4	鉄筋コンクリート	●	●	●	●	
4 消防署北支署	小牧市久保新町60番地	531.6	平成7	鉄筋コンクリート	●	●		●	
5 第1分団車庫	小牧市応時四丁目104番地	129.8	平成22	鉄骨造					
6 第2分団車庫	小牧市大字村中950番地1	46.1	平成5	鉄骨造					
7 第3分団車庫	小牧市久保新町45番地2	102.3	平成19	鉄骨造					
8 第4分団車庫	小牧市篠岡二丁目31番地	49.0	昭和61	鉄骨造					
9 第5分団車庫	小牧市大字大草134番地	50.0	平成6	鉄骨造					
10 第6分団車庫	小牧市下小針中島二丁目90番地4	89.3	平成18	鉄骨造					
合計		5,240.0							

② 配置状況

図表 消防施設位置図



2) 実態把握

① 建物状況

■ 消防施設の建物総合評価結果

平成 25 年度の消防施設 10 施設の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応			⑤維持管理(H24年度)							
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	規模改修後または直近の大規模改修年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	トイレの洋式化	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費(千円)			床面積当たり(円/㎡)		
																		光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	消防庁舎	昭和50	2,713	○	38	平成16	9	×	×	×	×	×	○	×	×	×	9,147	15,567	928	3,371	5,738	342	
2	消防署東支署	昭和61	1,023	—	27	平成24	1	×	×	×	×	×	○	×	×	×	3,788	3,443	305	3,703	3,365	298	
3	消防署南支署	平成4	506	—	21	平成21	4	○	○	○	○	×	○	×	×	×	複合施設のため 評価対象外とする						
4	消防署北支署	平成7	532	—	18		18	○	○	○	○	×	○	×	×	×							
5	第1分団車庫	平成22	130	—	3		3							×	×	×	140			1,075			
6	第2分団車庫	平成5	46	—	20		20							×	×	×	77	41		1,663	896		
7	第3分団車庫	平成19	102	—	6		6							×	×	×	61		15	601		144	
8	第4分団車庫	昭和61	49	—	27	平成7	18							×	×	×	58			1,174			
9	第5分団車庫	平成6	50	—	19		19							×	×	×	67		3	1,343		60	
10	第6分団車庫	平成18	89	—	7		7							×	×	×	69		19	778		209	
合計			5,240														13,407	19,051	1,270	3,190	4,533	302	

①、③、④ の記載例	実施済み : ○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備 ※①の「不要：—」には、耐震診断の結果耐震化が不要な施設と新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。
	未実施 : ×	
	不要 : —	
⑤の凡例	 : 床面積当たり (円/㎡) の平均値 (床面積当たり (円/㎡) の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計)	
	 : 平均値の1.4倍	

第2分団車庫は、築20年が経過しています。そのため、今後計画的な老朽化対策が必要です。

(パターンC)

消防庁舎等9施設は、大規模改修を実施した施設又は比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応等が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が望まれます。(パターンD)

評価	パターンC 今後 老朽化	パターンD バリアフリー・環境未対応																								
		・老朽化が進行している	・バリアフリー、環境対応が未完了																							
該当施設	<table border="0"> <tr> <td>該当施設</td> <td>建築年度</td> </tr> <tr> <td>第2分団車庫</td> <td>平成5</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">< 1 施設 ></p>	該当施設	建築年度	第2分団車庫	平成5	<table border="0"> <tr> <td>該当施設</td> <td>建築年度</td> </tr> <tr> <td>消防庁舎</td> <td>昭和50</td> </tr> <tr> <td>消防署東支署</td> <td>昭和61</td> </tr> <tr> <td>消防署南支署</td> <td>平成4</td> </tr> <tr> <td>消防署北支署</td> <td>平成7</td> </tr> <tr> <td>第1分団車庫</td> <td>平成22</td> </tr> <tr> <td>第3分団車庫</td> <td>平成19</td> </tr> <tr> <td>第4分団車庫</td> <td>昭和61</td> </tr> <tr> <td>第5分団車庫</td> <td>平成6</td> </tr> <tr> <td>第6分団車庫</td> <td>平成18</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">< 9 施設 ></p>	該当施設	建築年度	消防庁舎	昭和50	消防署東支署	昭和61	消防署南支署	平成4	消防署北支署	平成7	第1分団車庫	平成22	第3分団車庫	平成19	第4分団車庫	昭和61	第5分団車庫	平成6	第6分団車庫	平成18
該当施設	建築年度																									
第2分団車庫	平成5																									
該当施設	建築年度																									
消防庁舎	昭和50																									
消防署東支署	昭和61																									
消防署南支署	平成4																									
消防署北支署	平成7																									
第1分団車庫	平成22																									
第3分団車庫	平成19																									
第4分団車庫	昭和61																									
第5分団車庫	平成6																									
第6分団車庫	平成18																									
コメント	・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。	・バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。																								

② コスト状況

消防施設 10 施設の年間トータルコストは、9 億 6,515 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 8 億 40 万円 (83%)、事業運営にかかるコストは 1 億 3,433 万円 (14%)、減価償却相当額が 3,043 万円となっています。

図表 施設別 市の行政コスト計算書 (平成 24 年度) (円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		消防庁舎	消防署東支署	消防署南支署	消防署北支署	
施設にかか るコス ト	一般職員人件費	411,088,844	133,603,874	102,772,211	102,772,211	
	再任用職員人件費	12,725,525	0	0	0	
	修繕費	928,043	305,340	399,000	0	
	光熱水費	9,147,121	3,788,419	1,074,245	1,117,170	
	委託費	15,567,105	3,442,567	15,750	15,750	
	使用料及び賃借料	487,870	317,441	116,086	116,086	
	施設にかかるコスト	449,944,508	141,457,641	104,377,292	104,021,217	
事業運 営にか か る コ ス ト	報酬費	460,000	0	0	0	
	修繕費	13,012,181	1,298,565	376,932	421,509	
	委託費	5,397,350	350,000	350,000	350,000	
	使用料及び賃借料	2,062,806	0	0	0	
	車両・備品購入費	16,993,955	0	26,486,250	230,580	
	負担金補助及び交付金	6,951,063	2,662,009	53,860	478,209	
	その他物件費	29,113,960	2,974,600	1,959,322	1,881,441	
	事業運営	73,991,315	7,285,174	29,226,364	3,361,739	
	主 催	使用料及び賃借料	44,100	36,750	36,750	36,750
	車両・備品購入費	609,000	0	0	0	
	主催事業	653,100	36,750	36,750	36,750	
事業運営にかかるコスト	74,644,415	7,321,924	29,263,114	3,398,489		
現金収支を伴うコスト 計		524,588,923	148,779,565	133,640,406	107,419,706	
【収入の部】						
収入	手数料収入	10,704,600	0	0	0	
	使用料収入	2,318,100	880,200	240,000	240,000	
	諸収入	75,974	90,098	91,000	93,934	
収入の合計		13,098,674	970,298	331,000	333,934	
II. 現金収支を伴わないもの						
コスト	減価償却相当額	11,959,790	6,560,800	4,194,822	4,367,961	
III. 総括						
コストの部合計(トータルコスト)		536,548,713	155,340,365	137,835,228	111,787,667	
収支差額(ネットコスト)		523,450,039	154,370,067	137,504,228	111,453,733	

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		第1分団車庫	第2分団車庫	第3分団車庫	第4分団車庫	第5分団車庫	第6分団車庫	合計	
施設にかか るコス ト	一般職員人件費	0	0	0	0	0	0	750,237,140	
	再任用職員人件費	0	0	0	0	0	0	12,725,525	
	修繕費	0	0	14,763	0	3,000	18,643	1,668,789	
	光熱水費	139,513	76,604	61,404	57,512	67,071	69,468	15,598,527	
	委託費	0	41,252	0	0	0	0	19,082,424	
	使用料及び賃借料	9,042	0	9,042	9,042	9,042	9,042	1,082,693	
	施設にかかるコスト	148,555	117,856	85,209	66,554	79,113	97,153	800,395,098	
事業運 営にか か る コ ス ト	事業運 営	報酬費	806,000	806,000	806,000	806,000	806,000	806,000	5,296,000
		修繕費	33,075	69,616	108,567	18,438	69,455	71,450	15,479,788
		委託費	0	0	0	0	0	0	6,447,350
		使用料及び賃借料	9,956	9,956	9,956	9,956	9,956	9,956	2,122,542
		車両・備品購入費	407,050	205,450	205,450	205,450	205,450	205,450	45,145,085
		負担金補助及び交付金	427,923	427,923	422,000	422,000	422,000	422,000	12,688,987
		その他物件費	3,944,486	1,178,437	1,671,035	1,016,975	1,568,878	1,075,057	46,384,191
	事業運営	5,628,490	2,697,382	3,223,008	2,478,819	3,081,739	2,589,913	133,563,943	
	主 催	使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	154,350
		車両・備品購入費	0	0	0	0	0	0	609,000
		主催事業	0	0	0	0	0	0	763,350
	事業運営にかかるコスト	5,628,490	2,697,382	3,223,008	2,478,819	3,081,739	2,589,913	134,327,293	
	現金収支を伴うコスト 計		5,777,045	2,815,238	3,308,217	2,545,373	3,160,852	2,687,066	934,722,391
【収入の部】									
収入	手数料収入	0	0	0	0	0	0	10,704,600	
	使用料収入	0	5,200	0	0	0	0	3,683,500	
	諸収入	0	0	0	0	0	0	351,006	
収入の合計		0	5,200	0	0	0	0	14,739,106	
II. 現金収支を伴わないもの									
コスト	減価償却相当額	1,238,490	243,210	661,710	142,560	517,770	544,170	30,431,283	
III. 総括									
コストの部合計(トータルコスト)		7,015,535	3,058,448	3,969,927	2,687,933	3,678,622	3,231,236	965,153,674	
収支差額(ネットコスト)		7,015,535	3,053,248	3,969,927	2,687,933	3,678,622	3,231,236	950,414,568	

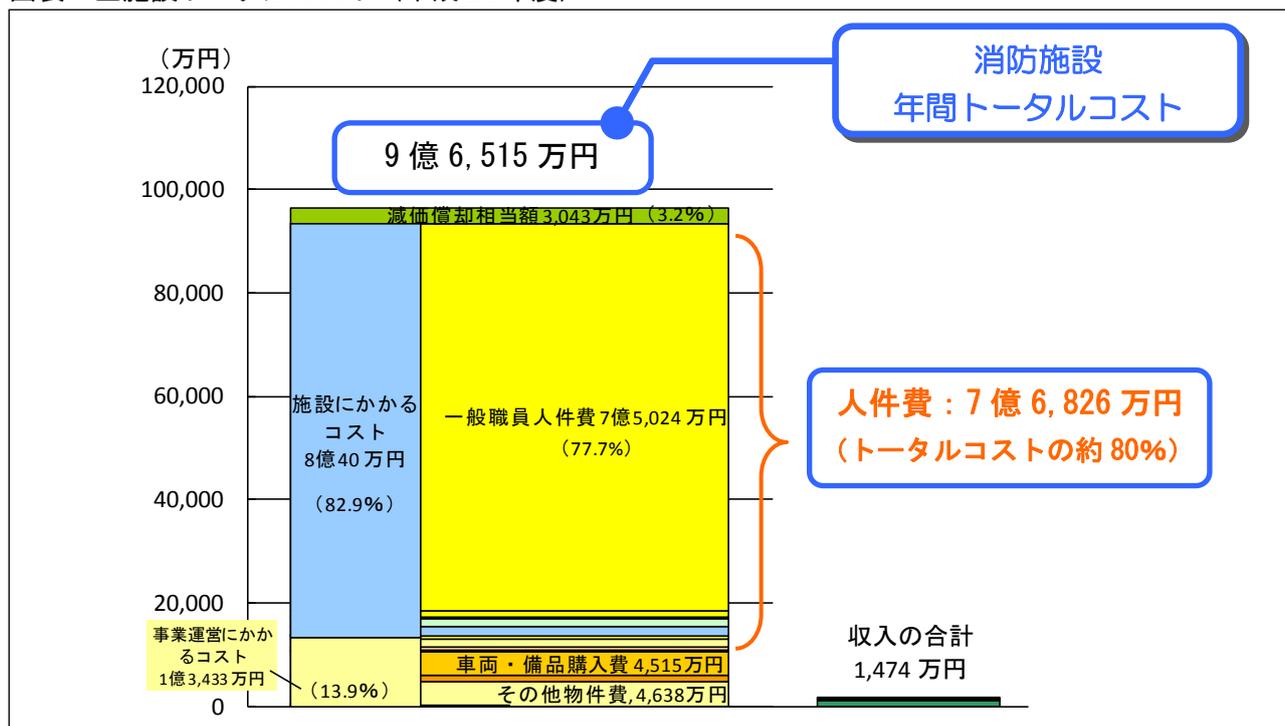
消防施設の全施設トータルコストのうち、人件費が7億6,826万円と全体の約80%を占めています。

施設別トータルコストでは、消防庁舎は5億3,655万円となっています。

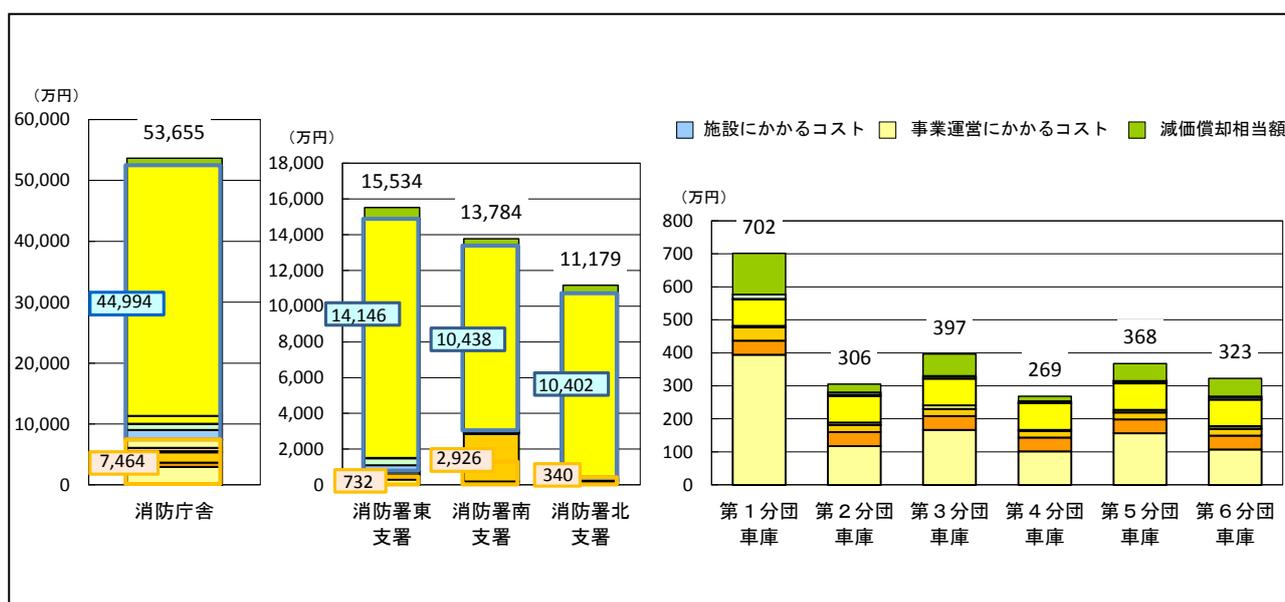
消防署支署は、東支署が1億5,534万円、南支署が1億3,784万円、北支署が1億1,179万円となっています。

分団車庫は、第4分団車庫の269万円から第1分団車庫の702万円となっています。

図表 全施設トータルコスト（平成24年度）



図表 施設別トータルコスト（平成24年度）



3) 今後の検討の視点

■ 施設に関する視点

- 消防庁舎は、市民の安全・安心な暮らしを守るための重要な施設であり、今後もその機能を維持していくことが必要です。各施設は耐震性が確保されていますが、今後は計画的に適切な老朽化対策を行う必要があります。
- 近隣自治体との広域連携を進めるなど、消防力の共有を図り、災害対応体制を強化していくことが重要です。

